

小学部 第3学年○組 生活単元学習 学習指導案

1 単元名 学校の周りを知ろう

2 単元設定の理由

本学年では、2年生までに校外学習で公共施設（公園）の利用の仕方や、買い物学習を行ってきた。道路の歩き方や交通ルールにねらいをおいた校外学習は、今年度からの計画となる。4月に交通安全教室で交通ルールの学習をし、遊びの時間を利用して、車の通らない田んぼ道を、教師と一緒に草花などを観察しながら歩くことができた。

学校周辺には、児童の学校生活や家庭生活に関わりが深い店や、工場、公共施設、田畠、養豚場が存在し、また児童の自宅周辺と同じような店や、交通標識も見られる。実際に歩いて、道路際の店や工場で直接地域の方に話をうかがったり、自分たちの生活につなげて考えたりすることによって、学校周辺の地域の様子について知ることができると考える。

また、児童同士のやりとりは要求的な内容が中心であり、経験したことなどを児童同士で伝え合うことはまだ難しい。これまで、教員が児童に質問して経験したことを友達の前で発表することは行ってきたが、自分から友達に「教えてあげよう」というようなやりとりの楽しさを味わうまでには至っていない。

そこで、クラスごとに学校周辺を歩いてまわることにより、地域の方と触れ合ったり、学校の周りにある店や工場、建物、公園、交通標識を見たり聞いたりする探検活動を行い、そのときに見てきたことや、見つけたもの、聞いてきたことなどの情報を絵地図にまとめ、発表会で友達に伝える力をつけることをねらい、本単元を設定した。

3 目標

- ・教師や友達と一緒に歩いて、学校の周りにある店、工場、交通標識、田畠、公園、働いている人を見つけ、地域での働きを知ることができる。 [関心・意欲]
- ・絵地図の中に見てきたものや聞いてきたこと、見つけたものを表すことができる。 [技能・表現]
- ・他のクラスの発表を聞くことにより、学校の周りにあるものを知ることができる。 [知識]
- ・経験してきたことの中から友達に教えたいものを選んで、発表することができる。 [思考・判断]

4 学習計画（9時間扱い）

第一次	私たちの教室の周り	・・・ 1 時間
第二次	学校の周りを探検しよう	・・・ 4 時間 (内 3/4, 4/4 時間は校外学習)
第三次	発表会の準備をしよう	・・・ 3 時間 (本時 2/3 時間)
第四次	発表会	・・・ 1 時間

5 児童の実態及び個人の目標

氏名	状態像	本時の目標に対する実態	本時の目標
A	<ul style="list-style-type: none">・簡単な指示を理解することができる。・やりたいことがあると言葉で要求することができる。	<ul style="list-style-type: none">・好きな色を選び、絵を描くことができる。・のりを使い貼ることができる。	<ul style="list-style-type: none">・写真に合った色を選び彩色することができる。・のりを使って絵や写真を指定された場所に貼ることができる。
B	<ul style="list-style-type: none">・簡単な指示を理解し、興味のある活動に自分から取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none">・マジックやクレヨンでなぐり書きや四角の中を塗りつぶすことができる。・のりを使い貼ることができる。	<ul style="list-style-type: none">・写真に合った色を選び彩色することができる。・のりを使って絵や写真を指定された場所に貼ることができる。
C	<ul style="list-style-type: none">・発音は不明瞭であるが簡単な	<ul style="list-style-type: none">・指示された物の絵を描くことが	<ul style="list-style-type: none">・写真を見ながら、絵を描くことが

	言葉のやりとりができる。	できる。 ・見てきた事や場所を表現することができる。	できる。 ・地図の中で写真を貼る場所を探すことができる。
D	・自分で活動に取り組むことは難しいが、教師と一緒に活動することができる。	・教師と一緒にハサミで切ることができ。 ・教師と一緒にのりを使うことができる。	・教師と一緒に線に沿って写真を切り抜くことができる。 ・教師と一緒に写真をのりで貼ることができる。
E	・言葉でのやりとりをすることができる。 ・注目されることが苦手で、発表場面ではうつむいてしまうことが多い。	・指示された物の絵の部分を描くことができる。 ・見てきた事や場所を表現することができる。	・写真を見ながら、絵を描くことができる。 ・地図を見て写真を貼る場所を探すことができる。
F	・自分の意思を言葉で伝えることができる。 ・自分の意思が通らないと、気持ちの切り替えが難しいときがある。	・指示された物の絵を描くことができる。 ・見てきたことや場所を表現することができる。	・写真を見ながら、絵を描くことができる。 ・地図の中で写真を貼る場所を探すことができる。
G	・簡単な指示を理解することができる。 ・友達の声など苦手な音があると、耳ふさぎをすることがある。	・教師と一緒にハサミで切ることができ。 ・教師と一緒にのりを使うことができる。	・教師と一緒に線に沿って写真を切り抜くことができる。 ・のりを使って絵や写真を指定された場所に貼ることができる。

6 本時の目標

(1) 目標

- ・経験したことの中から友達に伝えたいものを選ぶことができる。
- ・何を伝えたいのかを考えることができる。
- ・自分の発表するところを絵や写真で表すことができる。
- ・見てきたものや聞いてきたこと、見つけたものを絵地図に表すことができる。

(2) 準備・資料

模造紙、マジック、画用紙、クレヨン、写真（校外学習の時に写したもの）

(3) 展開

学習の内容及び活動	児童への支援の手立て（評）：評価
1 始めのあいさつをする。	・日直の児童を確認し、元気にあいさつができるよう言葉かけをする。
2 本時の学習内容を知る。 たんけんで見つけたものを、絵ち ずにあらわそう	・学習計画表で本時の学習内容を確認する。 ・活動内容を短冊カードと写真カードで説明し、本時の見通しがもてるようにする。T2, T3はA, D, Gが話を聞けるように支援する。 ・絵に表せるように、建物や機械、標識などの写真を手元に用意しておく。 ・見本を見せたり手本を示したりしながら、C, E, Fができるだけ自分で取り組めるようにする。また、必要に応じて言葉かけなどの支援を行う。
3 活動の内容を知る。	

<p>4 「工場コース」の絵地図作りを行う。</p> <p>(1) 見つけたものを絵や写真で作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物 ・門や守衛 ・車（トラック、フォークリフト） ・標識 ・自動販売機、ATM ・公園や緑 	<ul style="list-style-type: none"> ・T2, T3はA, Bがあらかじめ選んでおいた絵に、写真を見て彩色できるよう、一つ一つの活動ごとに言葉かけをする。 ・絵で表すことが難しいD, Gには写真を切り抜くなど、簡単な活動で取り組めるようにする。また、ハサミを使うことが難しいD, Gには、手添えによりローラーカッターで切り抜く活動ができるようとする。何を切っているのか、教師の言葉かけ等で理解できるようにする。 ・1つ終わったら2つめ、3つめに取り組めるよう言葉かけをし、活動を促す。 <div data-bbox="597 563 1422 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) 絵に表そうとしているものを認識し、自分なりに表現することができる。(C, E, F) [観察・作品]</p> <p>(評) 何の絵かを言葉かけ等により意識し、彩色することができる。(A, B) [観察・作品]</p> <p>(評) 選んだ写真が大体分かり、教師と一緒に写真の切り抜きを行うことができる。(D, G) [観察・作品]</p> </div>
<p>(2) できた絵や写真の切り抜きを地図に貼っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校と歩いたコースにはあらかじめ赤でしるしをしておき、どこを通って見つけたのか分かりやすくしておく。 ・T2は、プロジェクターを使い、撮ってきた写真を道順に沿って提示する。 ・道順に沿って何があったかを確認しながら、絵や写真が貼れるように支援する。 ・のりを使うことが難しいD, Gには両面テープをめくれば接着できるようにし、端をめくっておく。 <div data-bbox="597 1201 1422 1372" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(評) みんなで確認すれば、どこに何があったかが大体分かり、絵を地図に貼ることができる。(C, E, F) [観察]</p> <p>(評) 言葉かけにより、絵や写真の向きを間違えずに貼ることができます。(A, B, D, G) [観察]</p> </div>
<p>5 絵地図を鑑賞したり、感想を発表したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで作った絵地図を見て、感じたことを自由に発表させる。(A, C, E, F)
<p>6 ふりかえりと次時の予告をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・T2, T3から児童の活動の様子を聞き、児童のよかったところを賞賛し、次時の活動に意欲がもてるようとする。(B, D, G) ・次時は、発表会に向け発表の練習をすることを知り、意欲が高まるようとする。
<p>7 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で使用した道具を元の場所に戻すよう声をかける。カゴには写真カードを付けておく。
<p>8 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で片付けることが難しい児童には、言葉かけや一つ一つ確認をする等の支援を行う。 ・当番にあいさつをするように促す。